



国際ロータリー2630地区

名張ロータリークラブ

2025~2026

○会 長 小川 貴 司
○会 長 エレクト 藤 森 至
○副 会 長 宮 尾 保 範
○幹 事 坂 本 幸 嗣
○管理・親睦運営委員長 今 中 武 美
○広報・会報委員長 丹 下 剛 一

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

○例 会 場

名張市南町822-2 名張産業振興センター(アスパ) TEL 0595-64-5353

○事 務 局

〒518-0729 名張市南町822-2
名張産業振興センター4F
TEL 0595-63-1338 FAX 0595-63-8163
月～木曜日 10時～15時(休憩12～13時)
E-mail nabarirc@e-net.or.jp

第 2836 回例会

12 月 8 日(月)12:30 点鐘

本日のプログラム

【総合司会】宮尾 保範 副会長
【ソング】我等の生業
【行事】ガバナー補佐訪問
／名張中央 RC との合同例会
卓話：名張モラロジー 代表世話人
萩田 和明 様

【次回のお知らせ】
12/15(月)第2837回例会 クラブ協議会(上半期報告)
広報・会報委員会／組織強化委員会
会／支援プログラム委員会

前例会の記録

第 2835 回例会

12 月 1 日(月)12:30 点鐘

○ゲスト
○ビジター
○出席報告
会員数 40 名 欠席人数 5 名
出席人数 35 名
出席免除者 2 名
事前メーキャップ 1 名
出席率 97.37%
○11/9(月)の出席率は 100%
訂正なしです。

【会長の時間】小川会長

会員の皆様、こんにちは。今日は12月1日(朔日)で師走に入りました。いつも紹介しています七十二侯では今頃はちょうど「朔風(さくふう)葉を払う」です。朔風の「朔」は北という意味で、「木枯らし」のことです。

7月にスタ-トしました今年度も丸5か月が過ぎました。これもひとえに会員皆様のご協力のお陰と改めてお礼申し上げます。本日は早いもので次年度の理事・役員を選出する「定時総会」がこの後、予定されております。宜しくお願い致します。さて、今日の会長の時間は私の生業の関係で料理とお酒の話を少ししたいと思います。

春は花の宴、秋は紅葉(もみじ)の宴。その昔、宮中では紅葉(こうよう)がきれいな時季になると美しく染まった楓の木陰で宴を催す“ならわし”があったそうです。粋なことですね。今年の紅葉は11月に入ってちょうど7日の立冬を過ぎた頃から朝晩の冷え込みが有って、いっぺんに色づき始めた様に思います。店の周りの紅葉(こうよう)も種類によって色とりどりで、秋は何とも風情が有ります。紅葉を眺めると自然が織りなす彩りは正に神業と言う他は有りません。人では真似できない絶妙な配色です。今年は特別に長い夏がやっと終わると、あつという間に秋から冬になったように思われます。秋はこのように毎年極端に短くなっていくのでしょうか？

秋の料理に「吹き寄せ」という秋ならではの一品が有ります。昔の料理人の工夫で、どこへも出かけなくとも座敷に居ながら、秋風が吹き寄せた紅葉(もみじ)や木の実の面白さを季節の味で卓上によみがえらせる洒落た知恵は天晴です。秋の「吹き寄せ」は籠盛りにして川海老、胡桃、くわいせんべい、銀杏、松葉そば、稲穂の花揚げ、紅葉麩、栗の渋皮焼等を使います。秋たけなわの「酣」は酒へんに「甘い」(かん)と書きます。酒へんは酒壺つまりは「酒」表して「甘」は美味・楽しみ・満足を表しています。つまりは酒がうまくてたまらんことを言います。盛大な酒宴(うたげ)お開きになれば酒が卒(おわる)で「酔」(すい)という次第です。「酔」は今、使われている酒に酔うという字の旧字です。

予定されていますクラブの忘年会も愉快的な酒宴(うたげ)となりますように精一杯、お世話させていただきます。会長の時間でした。

【幹事報告】

お知らせ・理事会報告 ○米山記念奨学会、ロータリー財団 11月集金分を11/25に送金しました。引き続きよろしく願いいたします。○入会、退会の承認がされました。

他クラブ例会の変更 事務局にてご確認ください
その他



DEI 推進セミナー報告 坂本幹事

DEIとはD(ディバーシティ)多様性E(エクイティ)公平性I(ハンクルージョン)包括性の頭文字をとった略語です。河合正さんの講演テーマ「私は自分を恥じていた」、慶応大学を出て、一流企業に入ることによって優越感を感じて頑張ってきたのに、自分はゲイだと気づき(19歳の時)社会不適格者という恐れを抱きながら、

誰にも言えない不安の中、33才でHIV(エイズ)に感染、35歳で覚せい剤に手を出し、37歳で職務質問を受け逮捕。しかし、一度止めた薬も再びもう止めれないと、父は息子をあきらめ他界。ダルクという施設でお世話になるようになり、「装ったり」「ふりをする」のをやめて、素直な自分を受け入れることで(話をすることで)「よそよそしさ」から少しずつ解放されているという講演でした。講演することで心が軽くなりますが、立ち直っていないのが現状とのことです。

続いて岐阜保護観察所所長、木下さんのお話ですが、この保護司という仕事は犯罪や非行をした人の立ち直りを地域全体で支える民間のボランティアです。法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員ですが給与は支給されません。ロータリーの先輩の奥村さんが保護司をされているのでお電話させて頂きお知恵をおかりしました。木下さんは、この非常勤という仕事は非常に難しいジレンマを抱えていると。それは、私たちの役目は罪を犯した人への優遇ではないのか？又、こうも言われます。犯罪者と被害者のいる中での理想主義ではないか？又、現実には帰る場所がない。こういう犯罪者は何度も何度もやるから目の映らない所にやってくれ。刑務所の外は刑務所の中より高い壁が待っている。家族の方も引き受けられないなど(少年院から1年お母さんに受け入れてもらえるはずが、あなたなんか帰ってこない方がいいの)と言われ、数日後夜の街で再犯)現実、保護司のなり手が少なくなっている。「それは時代の寛容性が薄れてきているからだと思います」と言われました。現実、去年滋賀県大津では(家)自宅に対象者を招いて(ナイフとおの)襲われてお亡くなりになりました。ご家族の方も家に覚せい剤をしている人を連れて来ないで下さい。家族が支援しない人も増えていると。

最後に講評があり、カウンセラーの方が「重くて、深いテーマで講評できません」とおっしゃいました。一般社会でも、価値観の違いを受け入れ難い時代になってきています。会場も正直重い空気です。でも私たちには、日々の行動規範とする、四つのテストがあります。とすれば一見、この困難な問題も簡単になるのが面白いと私は考えました。ロータリアンは何をなすべきなのか？何が出来るのか？来て良かった。意見の違い、考え方の違い、国の違いで相手を否定したり対立したりするのではなく、誰とでも手を取り合うことができるのがロータリアンであると思います。

【ニコニコBOX】本日の合計金額 36,000円

○ 本日は定時総会よろしくお願いいたします。

インフルエンザが流行してます。くれぐれもご自愛ください。 小川会長

○本日は定時総会です。よろしくお願いいたします。 坂本幹事 三枝君

中島君 浅津君 城山君 川口君 藤森君 井上君 宮尾君 奥中君 奥田君
廣瀬君 森本君 廣野君 三木君 山本君 今中君 杉本君 大崎君 丹下君
瓦井君 隠地君 脇坂君 玉田君 遠山君 大藪君 小川君 梅澤君 岩見君
富永君

○先日 孫の七五三で東京へ行ってまいりました。上野公園へ行くと偶然「伊賀忍者フェスティバル」が開催されており、楽しい時間を過ごしてまいりました。 勝木君

○ロータリー財団の年次基金たくさんいただきました。有難うございます。 志浦君



定時総会 / 次年度理事発表



会員コラム 『瓦とは？』 岩見君

瓦の歴史について書かせて頂きます。我が社は皆さんご存知の通り瓦屋を営んでいます。仕事の内容は瓦製造販売、屋根工事を主として屋根全般にも請け負っています。最近の建築様式の変化で大きな地震が起こるたびに『瓦は重い』とされ、段々と瓦離れが起きほとんどの住宅の屋根では新生屋根材や、鋼板の屋根材に変化してきましたが、やはり日本の風景や風土には日本瓦、和瓦が似合うと私は思っています。日本の世界遺産や国宝、重要文化財のほとんどに瓦が使用されています。それだけ歴史も古く耐久性の部分でも実績があります。瓦は古くは3000年前には中国で始まったとされています。それから朝鮮半島を渡り日本に渡ったのが1400年前とされていて、日本で最初の瓦は飛鳥寺であり百濟からやって来た技術者の手によって作られたようです。それから飛鳥から平安、室町鎌倉、桃山時代には世の中が発展することによって瓦の普及が進んできました。江戸の中期以後には住宅でも瓦が使用され棧瓦(簡略)が開発されました。それまでは平瓦と丸瓦の本葺きと言われる形であります。現在で主に寺院に使われますが大変コストも掛かりますので棧瓦葺きが主流となっております。瓦は歴史が長いのでここでは書ききれませんが本当に奥が深く興味深いです。まとめになりますが今後も瓦の歴史を学んでいき伝統的な瓦の追求をしていきたいと考えます。

